

研究主題 「見方・考え方を働かせて課題解決できる生徒の育成」～個別最適な学びと協働的な学びを通して～

単元を貫く問い 読み取った内容を活用して、どのようなことを伝えることができるか。／ 単元ゴール クラスメートの情報を分析して、ピッタリな仕事をおすすめしよう。

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(●)
 【中学1年生 CAN-DO リスト 読むこと②】
 ◆日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い紹介文や説明文、広告やパンフレットなどの概要を捉えることができる。
 ●物語文のストーリーの流れや、英語で書かれた説明を読んで、何についての説明か、を捉える。

本単元の目標

学習指導要領「読むこと」-イ
 ※扱う英文によっては「読むこと」-アについての指導も行う。
 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標「読むこと」2年生②
 日常的な話題について、絵や図、表などを示せば、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。

学びに向かう力、人間性等
 ●文の種類などに応じて、手法を変えながら、書かれている情報を整理し、その概要を把握しようとする。また、他生徒の分析内容などを参照して、自分の分析に活用する。
 ●目的・場面・状況に応じて、読み取り整理した情報を活用して、自分の考えなどを伝へようとする。

単元終了時のめざす生徒の姿
 ①読んだ英文を、構造的に分析し、伝えられているものの概要を把握することができる。
 ②分析した英文をもとに、目的・場面・状況に応じて、読み取ったものを細協として示しながら、自分の考えなどを伝えることができる。

思考力・判断力・表現力等
 ●文の種類などに応じて、手法を変えながら、書かれている情報を整理し、その概要を把握する。
 ●目的・場面・状況に応じて、読み取り整理した情報を活用して、自分の考えなどを伝える。

知識及び技能
 ●不定詞(to+動詞の原形)を用いた文の構造を理解する。
 ●将来に関わる自分自身のことを書いてまとめたり、それらを読み取って助言などをするために、不定詞を用いて伝える技能を身に付ける。

この単元からつながっている領域の付けたい力(◆)と内容(●)
 【第3学年 CAN-DO リスト 読むこと②③】
 ◆日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。
 ◆社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。
 ●日常的な話題や社会的な話題に関する英文を読んで、その概要を捉えて情報を整理し、目的に合わせて自分の考えを伝える。

生徒の実態と指導観
 本学年の令和6年度高知県学力定着状況調査における『読むこと』についての問題の正答率は、県全体の平均正答率+4、2ポイントであった。また、本単元で扱う読んだ英文の概要を把握する問題では、県平均正答率+4、7ポイントであった。第1学年における指導の中で、様々な英文の読ませ方をしてきたことで、英文の概要を把握する力については、一定伸ばすことができているといえるが、分量が多い英文や難しい単語・表現が用いられている英文と出会った際には、生徒が前向きに英文を読むことに臨めていない。また、概要を捉える問題の正答率は低くない一方で、読んだ英文を自分の言葉で再度伝えることには課題があるため、本単元の指導を通して、概要をつかんだうえで、その内容を整理して、自分の言葉で伝えられるようにしていく指導が必要である。

単元を通して、英文を読ませる際には、まず『どんな内容であったか』を伝えるために情報を整理させる。そのあとで、具体的な場面の中で適切に情報を選んで伝える活動をする。

- 【I 知識・技能の習得・中間指導・修正等／ II 英文の分析の仕方・読み取ったものを言語活動に活かすための見方・考え方の習得を主とした学習活動】
- 第1時** 課題設定 その人について、適切なアドバイスをするためには？
- 第2時** 1年教科書 p.66 "Life in Hawaii" に書かれている内容をマッピングして、情報を整理する(本時)。(思・判・表) / 言語活動 "What do you think about this cafe? & Why?" 自分の考えを伝えるために、英文を読んで情報を整理する。(思・判・表)
【DX】整理した内容(マッピング等)の共有、参照しながら加筆【基礎・基本の指導】【協働的な学び】
- 第3時** 不定詞(副詞的用法)の導入 / 『～へ行く目的』を考える、身近な場所を題材にした言語活動(知・技) / 前時の言語活動 "Where do you want to go in Hawaii? Why?" に再挑戦 ※不定詞の活用を指導(知・技)
【DX】作成した英文の共有、不定詞の活用についての気づき、加筆・修正【基礎・基本の指導】
- 第4時** 教科書 p.30(Part1)に書かれている英文の情報をマッピングして整理する。(思・判・表) ※nursery school teacher という情報は隠した資料をもとに整理する。 / 整理した情報をもとに、どの職場から配布された情報かを考える。 / 言語活動 Mom&Son "I can take you to Fuji. Tell me what you need for the Career day."
【DX】整理した内容(マッピング等)の共有、参照しながら加筆【基礎・基本の指導】【協働的な学び】
- 第5時** 不定詞(原因を表す副詞的用法)の導入、会話の流れに沿って反応を返す / 2年教科書 Unit2Part2(対話文)の情報を整理する。(思・判・表) / 対話の最後に Anna からの反応を考える。(思・判・表)
【DX】対話文をどう整理するか整理したものを共有、次時へのつなぎ【指導の個別化】【基礎・基本の指導】
- 第7時** 不定詞(形容詞的用法)の導入、状況に応じた、登場人物のセリフを考える。 / "What does he say?" "What does she say?" (知・技) / 教師として生徒への指示を考える。 "Before you go to the nursery school on a career day, ..." → you have a lot of things to do. For example, ... など(知・技)
【DX】チャット等で意見の集約【指導の個別化】【協働的な学び】

- 【学習した知・技や見方・考え方の活用を主とした学習活動】
- 第6時** 教科書 p.31(Part2)の対話文を整理する。(本のタイトル名は隠す) → 整理した上で、生徒から情報が足りていないことについての指摘があれば、p.32(Read&Think1)の絵本の内容を読ませる。
 言語活動 Mom&Son "What picture book will you bring to the nursery school? & Why?" ※整理した情報をもとにやり取りする。
【DX】第4時で対話文を整理したものを参照しながら、整理していく。【指導の個別化】【協働的な学び】
- 第8時** 教科書 p.34(Read&Think2)の内容(第2パラグラフまで)を整理する。
 言語活動 Let's finish Anna's letter. (アナの手紙の最後の段落で伝えたい内容を考える)(思・判・表)
 ※整理した内容からさらに伝えられる情報を書き加える。
【DX】整理した内容(マッピング等)の共有、書き加えた内容の共有 どのような内容を加えたかを共有する(スライド等で共同編集)【指導の個別化】【協働的な学び】
- 第9時～第11時**
 ①教師の「興味があることや、好きなことなど」将来に関連する内容についての英文を読んで、情報を整理する。(思・判・表)
 ②整理した内容をもとに、適していると思われる仕事について理由を付けてアドバイスをする。(思・判・表)
 ③教師が書いたものを参考にして、自分の「興味があることや、好きなことなど」将来に関連する内容をまとめて書く。(知・技)
 ④生徒同士でそれぞれが作成した英文を読み合い、内容を整理する。
 ⑤整理した内容をもとに、他生徒に適している仕事について理由を付けてアドバイスをする。
【DX】整理した内容(マッピング等)の共有、参照しながら加筆 アドバイスの内容の共有(参照して加筆)、進捗の管理【学習の個性化】【指導の個別化】【協働的な学び】

一斉での指導を中心に行い、学習活動に応じて生徒に委ねる時間を設定する。

- 知** 不定詞を用いた文の構造を理解している。また、不定詞を用いて書かれた文の内容を読み取り、自分の考えなどを伝えるための技能を身に付けている。
- 思** 読み取った文に応じて、まとめ方を工夫しながら、書かれている情報を整理している。また、目的に応じて読み取った情報を活用して、考えなどを伝えている。
- 主** 読み取った文に応じて、まとめ方を工夫しながら、書かれている情報を整理しようとしている。また、他者参照などを通して、整理の仕方などについて工夫しようとしている。

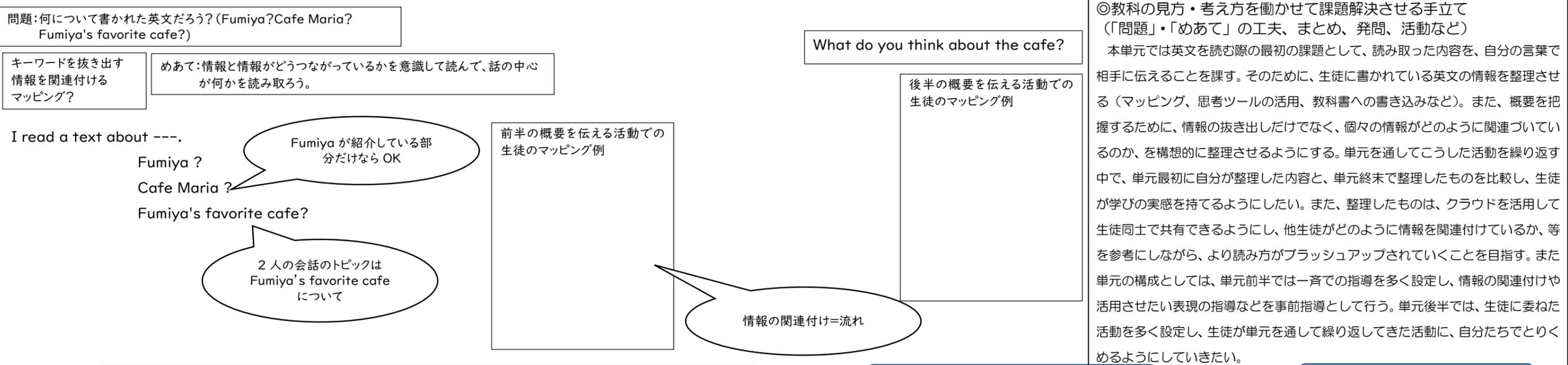
学習課題は教師が設定し、その達成に向けた学習活動を生徒に委ねる時間を多く設定する。生徒の学習状況を把握し、必要に応じて全体指導し、知識・技能や見方・考え方を適切に働かせることができるように指導する。

- 知** 不定詞を活用して、将来に関わる自分自身のことを書いてまとめたりする技能を身に付けている。
- 思** 読み取った内容から、目的・場面・状況に応じて、適切に情報を活用しながら、自分の考えを伝えている。
- 主** 読み取った内容から、目的・場面・状況に応じて、適切に情報を活用しながら、自分の考えを伝えようとしている。

見方・考え方を働かせている生徒の姿
 読んだ英文の概要を説明するために、英文の中で出てきた情報を関連付けたり、話の流れを構造的に整理している。他生徒が整理したものなどを参照しながら、自分が整理した情報を修正したり、加筆したりしている。

目的・場面・状況に合わせて、読んだ内容をもとに自分の考えなどを伝えるために、英文を読みなおし、情報を関連付けて考えている。

【本時の目標】 ハワイにあるカフェについて、自分の言葉で伝えるために、英文を読み、書かれている情報を関連付けて概要を捉えることができる。
 【本時における見方・考え方】 読み取った情報を、再構築して自分の言葉で伝えるためには、どのように情報を関連付けて整理すればよいか。



◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て
 (「問題」・「めあて」の工夫、まとめ、発問、活動など)
 本単元では英文を読む際の最初の課題として、読み取った内容を、自分の言葉で相手に伝えることを課す。そのために、生徒に書かれている英文の情報を整理させる(マッピング、思考ツールの活用、教科書への書き込みなど)。また、概要を把握するために、情報の抜き出しだけでなく、個々の情報がどのように関連しているのか、を構想的に整理させるようにする。単元を通してこうした活動を繰り返す中で、単元最初に自分が整理した内容と、単元終末で整理したものを比較し、生徒が学びの実感を持てるようにしたい。また、整理したものは、クラウドを活用して生徒同士で共有できるようにし、他生徒がどのように情報を関連付けているか、等を参考にしながら、より読み方がブラッシュアップされていくことを目指す。また単元の構成としては、単元前半では一斉での指導を多く設定し、情報の関連付けや活用させたい表現の指導などを事前指導として行う。単元後半では、生徒に委ねた活動を多く設定し、生徒が単元を通して繰り返してきた活動に、自分たちでとりくめるようにしていきたい。

T: Hello, everyone. Please say "Hello. How are you!" to your partner.
 S: Hello, how are you?
 S: I'm good.

T: Now, please ask your partner, "Tell me about a good cafe in Shimanto. You can start from "I recommend ---." or "OO is a good cafe in Shimanto."
 T: S1, can you tell me about a good cafe in Shimanto?
 S1: OK. Cafe N2 is a good cafe in Shimanto.
 T: What is special about the cafe?
 S1: We can eat delicious lunch.
 T: Really? What is your favorite dish there?
 S1: I like curry and rice.
 T: That sounds nice. I will try it.
 ※生徒同士で同様のやりとり

Today, Fumiya and Riko are talking together.
 First, please read it.
 And after that, you will tell your partner about the text.
 Now, read it. Ready go.
 ※生徒が text を読む。
 T: OK. Stop reading the text. Now, please tell your partner about the text. You can start from "I will tell you about ---." Ready go.
 (読んだ text は『自分の言葉』で伝えるため、伏せさせる)
 ※おそらく生徒の活動が停滞する。
 T: なぜできない?
 S: ①何を伝えればよいか分からない。
 ②何から伝えればよいか分からない。
 ③(内容は分かったが)どう伝えればよいか分からない。
 ④内容が分からない

T: What did you say first?
 S: I will tell you about cafe maria.
 S: I will tell you about Fumiya.
 S: I will tell you about Fumiya's favorite cafe.
 T: あれ、ちょっとズレがあるね。もう一度読んでみて、何についての書かれた英文か自分で判断してみよう。

問題: 何について書かれた英文だろう? (Fumiya? Cafe Maria? Fumiya's favorite cafe?)

T: じゃあ、読んだ英文が何について書かれた文か、その判断はどうしたらいい?
 S: 何についての情報が多いか、で判断したらいい。
 T: なるほど。じゃあ伝えられている情報が、どんな情報とつながっているか判断して、その情報の中心に来ているものを見つけたら良さそうですね。

めあて: 情報と情報がどうつながっているかを意識して読んで、話の中心が何かを読み取ろう。

T: Now, let's read the text again. This time, I will give you 5 minutes to take a memo. After 5 minutes, you will try to tell your partner about the text again.
 ※生徒がメモをしながら、text を再読する。
 ※内容理解に関して対話型AIの使用をしても構わないことを伝える。
 ※読み終えた生徒は、対話型AIに向けて概要をまとめて伝える。
 → 添削を受ける/伝えたい内容が伝わっているか確かめる。
 T: Now, please tell the story to your partner again. Start from saying like "I will tell you about ---." Are you ready? Ready go.
 S1: I will tell you about cafe Maria. It's Fumiya's favorite cafe.
 S2: I will tell you about Fumiya's favorite cafe. It's cafe Maria.
 T: S1 said "I will tell you about cafe Maria." and S2 said "I will tell you about Fumiya's favorite cafe." どっちがいいと思う?

S: 文也はカフェマリアについて伝えているけど、カフェマリアについての英文の前は、自分のお気に入りのカフェだから、みたいなのも伝えているので、Fumiya's favorite cafe から始めた方が、文全体のことは伝えられていると思います。
 T: じゃあ、文也が伝えていることだけ、なら cafe Maria でもいいけど、読んだテキスト全体で捉えると、Fumiya's favorite cafe の方がよさそうですね。
 OK. Now please switch your role. Tell your partner about the text. Ready go.
 S: I will tell you about Fumiya's favorite cafe. It's cafe Maria. It's in Hawaii. Loco moco is deicious. It's beef patty and fried egg on top of rice.
 T: S1 がしっかりと内容を整理して伝えることができていました。S1 が整理した内容と自分が整理した内容を見比べて、振り返ってみよう。
 S: 情報と情報のつながりが分かりやすくて、どんな流れになっているかが見て分かった。
 T: なるほど。やっぱり読んだ文全体について伝えるには、内容を関連付けて、流れが分かるようにしておくのが必要そうだね。
 Now, let's change the situation. I will give you another text about cafe Maria. Please read it. And after you read the text, you will talk about what you think about this cafe. You can say "I think it is a good cafe because" or something like that." このやり取りをする目的で情報を整理してみましょう。
 ※生徒がメモをしながら新しい資料を読む。
 ※内容理解に関しては対話型 AI を活用してもよい。
 ※読み終えた生徒は、対話型 AI を活用して練習してもよい。
 T: Now please ask your partner, "What do you think about this cafe?" and you can answer using the information from your mapping.
 S1: What do you think about this cafe?
 S2: I think that it is a good cafe.

S1: Why?
 S2: It doesn't have a website, but it is popular. Also, the owner of the cafe, Maria is kind and friendly. She knows a lot about Japan. We can enjoy talking with her. We can eat delicious loco moco too.
 ※1つの情報だけで Good cafe だと伝えている生徒がいる場合には、総合的に判断するために、全体の情報を使う必要があるという指導をして、見方・考え方を合わせる。

まとめ
 ※後半の言語活動に向けて生徒が作成したマッピング・メモと伝えた内容が書かれた(もしくは録音された)カードの提出・共有を行う

<指導上の留意点>
 生徒の問いを具体にするために、生徒が何に困っているかを具体的に引き出す。

<指導上の留意点>
 課題の進み具合が良くない生徒には、キーワードをまとめたカードをロイロで配布し、その情報を結び付けさせる。

<指導上の留意点>
 前半の活動でた生徒がまとめたものを参考にしながら、自分で英文の概要についてまとめられるようにする。

<指導上の留意点>
 伝えた内容よりも、目的に合わせて情報をどのように読み取り、整理しているか、を評価し、声かけする。

評価規準
 思考・判断・表現
 読み取った文に応じて、まとめ方を工夫しながら、書かれている情報を整理している。